

鎌倉税務署からのお知らせ

問合せ

鎌倉税務署

個人課税第1部門 ☎0467-22-5591 ㉔

所得税の申告は3月15日まで

税務課からのお知らせ

問合せ 税務課

☎内線251-253

◆確定申告書の提出期限と納税期限

所得税・贈与税は3月15日(木)まで、消費税(個人事業者)は4月2日(月)までに提出してください。

◆確定申告書臨時提出所を設置

鎌倉税務署に提出する確定申告書を受け付けます。申告相談の実施なし。
場所 イトーヨーカドー大船店 1階 エスカレーター横

※振替日
所得税(第3期分) 4月20日(金)
消費税(個人事業者) 4月25日(水)
◆期限間近は大変混みあいます
鎌倉税務署では、パソコンによる所得税・贈与税・消費税の確定申告書の作成指導を実施します。

◆町役場でも確定申告書の提出と簡易な相談を受け付けます
給与所得者の還付申告書、年金受給者の確定申告など簡易な確定申告の相談(アドバイス)をします。

◆国税電子申告納税システム(e-Tax)をご利用ください

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」で、e-Tax用申告データを作成し、直接電子申告ができます。平成23年分の所得税の確定申告を、本人の電子署名と電子証明書を付して申告期限内にe-Taxを利用して、所得税額から最高4,000円の控除を受けることができます。(平成19年分から平成22年分の確定申告で本控除の適用を受けた人は除く) 要事前手続き。詳細は <http://www.e-tax.nta.go.jp> をご覧ください。

期間 3月15日(木)まで
時間 10時～16時
※土・日曜日、休業日を除く。

時間 9時～17時(混雑した場合、受付を早めに締め切ることがあります)
※税務署の閉庁日(土・日曜・祝日等)は、税務署での相談と申告書は受け付けていません。また、4月中旬までは税務署内駐車場は使用不可。臨時駐車場もありませんので、ご注意ください。

※閉庁日は除く
時間 9時～16時
※12時～13時は除く

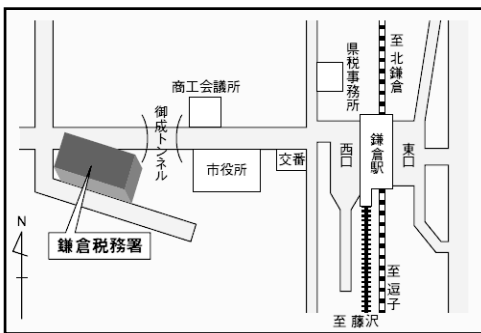
◆納税には安心・便利な口座振替を

口座振替を利用するには確定申告書提出期限までに依頼書の提出が必要です。一度提出すると継続されます。

口座振替を利用しない場合は納付書に金額を記入し、納税期限までに金融機関で忘れずに納税してください。



鎌倉税務署への行き方



JR・江ノ島電鉄鎌倉駅より徒歩10分です

仮収受

記載済みの(出来上がっている)確定申告書・消費税申告書の提出は、町役場税務課窓口でも受け付けします。
期間 3月15日(木)まで
※閉庁日は除く

鎌倉税務署でご相談ください。
譲渡所得(土地、建物、株式、ゴルフ会員権等)、災害や盗難等に伴う雑損控除、住宅借入金等特別控除等は

◆町役場でも確定申告書の提出と簡

易な相談を受け付けます
給与所得者の還付申告書、年金受給者の確定申告など簡易な確定申告の相談(アドバイス)をします。

※閉庁日は除く
時間 9時～16時
※12時～13時は除く

場所 役場4階大会議室
※事業所得、不動産所得、配当所得、公的年金等以外の雑所得、一時所得(生命保険契約等に基づく一時金等)、

譲渡所得(土地、建物、株式、ゴルフ会員権等)、災害や盗難等に伴う雑損控除、住宅借入金等特別控除等は

鎌倉税務署でご相談ください。

記載済みの(出来上がっている)確定申告書・消費税申告書の提出は、町役場税務課窓口でも受け付けします。

期間 3月15日(木)まで
※閉庁日は除く

鎌倉税務署でご相談ください。

記載済みの(出来上がっている)確定申告書・消費税申告書の提出は、町役場税務課窓口でも受け付けします。

期間 3月15日(木)まで
※閉庁日は除く

鎌倉税務署でご相談ください。

記載済みの(出来上がっている)確定申告書・消費税申告書の提出は、町役場税務課窓口でも受け付けします。

期間 3月15日(木)まで
※閉庁日は除く

鎌倉税務署でご相談ください。

記載済みの(出来上がっている)確定申告書・消費税申告書の提出は、町役場税務課窓口でも受け付けします。

期間 3月15日(木)まで
※閉庁日は除く

鎌倉税務署でご相談ください。

東日本大震災から1年

防災の心

忘れていませんか？



(財)消防科学総合センター
<http://www.lead.or.jp/>

昨年3月11日は、東北地方太平洋沖地震が発生した当日です。東北地方では、その地震に起因する大津波により、多くの命が奪われました。

大災害に生き残るためには、日ごろから防災意識を高めることが重要です。この講演では、今からできる事前対策・災害時にとるべき行動など「生き残るための地域の防災」についてお伝えします！

日時 3月11日(日) 14時～16時

場所 町福祉文化会館 大ホール

定員 500人程度

講師 防衛大学校名誉教授

佐藤 絃志 さん

テーマ

3. 11東日本大震災から学ぶ地域の防災 — 大災害でも生き残るには、何をなすべきか? —

入場無料です！

※駐車スペースに限りがあります。できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

問合せ 総務課防災係

☎内線561・562

家具の転倒防止対策をしよう

近年発生した大地震では、実際に3割から5割の人々が、転倒する家具・家電・ガラスの破片等でケガをしています。こうした被害は、家具・家電の配置換えや転倒防止器具の取り付け、ガラス飛散防止シートの貼りつけなどで防ぐことができます。



特に3月は引越しが多い時期です。自宅の引越しやオフィスのレイアウト変更の時は、対策をする絶好の機会です。で、いつ起きてもおかしくない地震に備えて取り組みましょう。

問合せ 総務課防災係

☎内線561・562

近代美術館 葉山からのお知らせ

休館日 月曜 展示替期間(3月26日～4月6日) 開館時間 9時30分～17時(入場は16時30分まで)

☎875-2800
☎875-2968

「すべての僕が沸騰する」

村山知義の宇宙

期間 3月25日(日)まで

一般 1000円、20歳未満と学生
850円、65歳以上500円、高校
生100円
*中学生以下無料

「マヴォ(Mavo)」や「三科」といっ

た前衛芸術集団の活動を通じて、大正
末期から昭和初期にかけて日本の近代
美術に決定的な影響を与えた村山知義。
彼はまた『子供之友』などの児童雑誌
にイラストレーションを発表するなど、
挿絵作家「Tom」として活躍したこ

とも知られています。詩人・児童文
学者の妻、壽子(かずこ)の童話をは
じめ、数多くの児童文学に添えられた
洒落なイラストは今なお瑞々しい魅力
を放ち続け、前衛芸術家・村山知義の
もうひとつの面をみせてくれています。

本展ではその原画と出版物を多数紹介、
1920年代に展開された美術の仕事
を中心に、その時代背景を伝える国内
外の作品・資料を参照しながら、村山
知義が夢みた全方位的な創造力の開放、
その沸騰の軌跡を検証します。関連企
画として、パフォーマンスの一夜「新・

劇場の三科」、村山知義の妻・壽子の童
話の朗読会、シンポジウムなどを開催。

パフォーマンス・イベント

●「新・劇場の三科 1925～2012」

日時 3月3日(土) 18時～20時

出演「予定」 巻上公一、やなぎみわ、
フォルマント兄弟、酒井幸菜

場所 フォルマント兄弟、酒井幸菜

費用 3000円(チケット料金)

定員 100人(オールスタンディング)

●女優 吉行和子さんによる童話の朗読&トーク

日時 3月17日(土) 14時～15時30分

ゲスト 吉行和子さん(女優)

聞き手 水沢勉(当館館長)

場所 近代美術館 葉山 講堂

*要申込み「定員70人・先着順」

参加無料

●担当学芸員によるギャラリートーク

日時 3月4日(日) 15時～16時

*申込み不要、参加無料(要観覧券)

*各イベントの詳細、申込方法等は当
館ホームページをご覧ください。

<http://www.monam.pref.kanagawa.jp>



葉山警察署からのお知らせ

☎876-0110

●オウム真理教関係特別手配被疑者の発見・検挙にご協力

オウム真理教による地下鉄サリン事
件は、多数の死傷者を出した恐ろしい
テロ事件であり、未だにサリン被害の
後遺症に多くの人が悩まされているな
ど、忘れてはならない事件です。

警察では、オウム真理教によるテロ
事件等に対する捜査を強力に推進し
て、これまでに事件に関与した教団幹
部等を検挙し、昨年 11月には一連の裁
判が最終したことにより、麻原彰晃こ
と松本智津夫を始め13人の死刑判決が
確定しました。

しかし、警察庁指定特別手配被疑者
として手配されている高橋克也、菊地
直子の2人は、偽名を名乗り、整形手術
をして、善良な市民を装って潜伏して
いる可能性があります。どんなささい
なことでも結構ですので、110番ま
たは最寄りの警察署・交番・駐在所の警
察官にお知らせください。

●「巡回連絡」にご協力を

「巡回連絡」とは、交番や駐在所の警
察官が皆さんのご家庭や会社等を訪問
して、犯罪や交通事故の発生状況、犯罪
等の予防に必要な地域安全情報を提供

するほか、皆さんからは警察に対する
要望・意見をお伺いして、安全で平穩
な、明るく住みよい街づくりに反映さ
せる活動です。

警察からは
ひたたくりや振り込め詐欺が多発し
ていること、人身交通事故の発生が多
くなっていることなど、地域の犯罪や
交通事故の発生状況等の地域安全情報
を提供しています。

・地域の皆さんからは
不審な人がいることや、痴漢・ストー
カー被害、暴走族や迷惑駐車、子ども
の非行や家庭内暴力、覚せい剤やシン
ナーを乱用している人がいることな
ど、要望や意見、困りごとをお聞き
して、地域の問題の解決に努めます。

◎「巡回連絡カード」の記入にご協力く
ださい
交番や駐在所の警察官が、巡回連絡
で皆さんのご家庭や会社を訪問した際
「巡回連絡カード」の記入をお願いして
います。このカードは今回の地震のよ
うな大きな災害が発生したときに、ご
家族への安否確認、迷子、高齢者を保護
した際の連絡などに役立てているもの
です。

消防団員募集！！

火事が起こった時、川が氾濫しそうな時、崖が崩れそうな時…。そんな時、皆の先頭に立ち「私たちの町」を守ってくれる人々がいます。それは消防団です。

緑豊かで自然あふれる葉山町を守る消防団員を募集しています。

消防団員は、普段は自分の職業や学業を持ちながら、火災や風水害、地震等

の災害発生時には消防活動を行い、地域の防災リーダーとして安心と安全を守るために幅広く活動しています。

葉山には現在、各地区にそれぞれ分団があり総勢182人の消防団員がいます。各分団には消防ポンプ車が1台ずつ、また消防車の走行が困難な狭い道が多い上山口、一色、堀内地区の分団話

所には小型の可搬ポンプ積載車も配備されています。そして、いざ災害が起きると消防本部からの指令により出動し、最前線で消防活動に当たります。

消防団は、地域の防災にとって欠かせない重要な地域活動です。消防団に入団いただき、かけがえ

のない私たちの町をあなたの力で「安心」な町として守りませんか。

●入団資格と身分

- ・ 町内在勤、在住の18歳以上の心身ともに健康な方であればどなたでも入団できます。
- ・ 非常勤特別職の地方公務員です。

●処遇

- ・ 災害活動、訓練等に出動した回数により出動手当(費用弁償)が支払われます。
- ・ 年に2回(3月・9月)、階級により数万円程度の報酬が支払われます。
- ・ 5年以上勤続して退職した場合、階級及び勤続年数に応じて退職報償金が支払われます。

問合せ 消防総務課

☎876-0119 内線313

(平日8時30分～17時15分)



自治会・町内会に加入しませんか

自治会・町内会は隣近所に住む人たちが、豊かで住みやすい街づくりを目指して自主的に結成された任意の住民自治組織です。

転入した人などで、自治会・町内会への加入を希望する人は、町民サービス課にお問い合わせください。お住まいの地域の自治会・町内会を紹介します。

地域には犯罪防止対策、大きな災害への備え、環境整備などのさまざまな課題があります。町にある28団体の自治会・町内会では、身近な地域の課題を解決したり、地域住民との交流を図ったり、地域への愛着、つながりを作り、より豊かな住みよい暮らしを支えています。

★防災・防犯活動

自治会・町内会では地域を安全・安心にする一端を担っています。大きな災害時には警察・消防署の助けだけでなく、隣近所の救出・救護活動も大きな鍵です。定期的に防災訓練をし、防災備蓄庫にはいざという時に使用する資材等を備えています。

また、防犯パトロールで地域の防犯意識を高め、空巣や子どもを狙った犯罪の防止につなげています。

★環境活動

リサイクル品の回収や公園の清掃など、生活環境の整備・向上を図り、住みよい環境を整える活動をします。

★文化・ふれあい活動

少子高齢化が進む中で、子どもから高齢者までが共に参加できる、世代間交流の場として、様々なイベントを開催。また、高齢者同士の親睦活動や子ども会活動を通して、ご近所・仲間同士の親睦融和につながる活動に努めています。

★情報交換

住民同士の意見交換会を開催し、地域での問題点や解決策などを話し合い、問題意識を高め会の活性化を図ります。

問合せ 町民サービス課

☎内線205・206

健康づくりのボランティア ヘルスマイト養成講座

広報はやま3月号



ヘルスマイトってなんだろう？

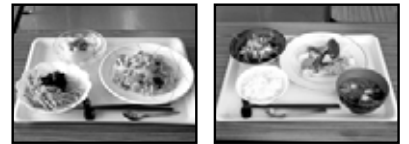
「町のために何かしたいけど何から始めていいかわからない!」、「自分も周りも健康的な生活を送りたいが知識がない!」そんな人はヘルスマイト（食生活改善推進員）を目指してみませんか？

ヘルスマイト養成講座では、健康的な食生活をおくるための知識・技術を学び、地域の健康づくりの場でボランティアとして食生活改善を推進する人材を育てます。年齢や性別は問いません！

来年度の受講については健康はやま4・5月号をご覧ください。

2月10日、町保健センターで1年間にわたるヘルスマイト養成講座の修了式と最後の調理実習がありました。

1年間で学んだ成果を発表するため、受講者の皆さんは今までの講座を振り返ったり、家で試作を重ねたり。今回は70代高齢者の1日の献立をテーマに2つのグループに分かれ、調理をしました。カロリーや塩分の計算はもちろんのこと、たんぱく質などの成分、さらには見た目の美しさにもこだわった美味しい料理ができました！



講座をふりかえって

●受講者の声

「普段の家での料理は目分量。しかし健康のことを考えると分量を知ることが大切だと実感しました。カロリー計算はしていても、成分までは気にしていなかったから勉強になりました。」

「算数のように足したり引いたり計算しながら献立を作るのが楽しかったです。」

「献立のレパートリーが増えて、家族も大喜び！充実した講義ばかりで、まわりの人にも広めたい。」

「将来のことを考えると、糖尿病などの疾病予防の食事という講義が興味深かったです。」

「講師や仲間にも恵まれ、楽しく学ぶことができたので、これからも頑張ろうと思いました。」



役割を分担し、真剣に調理しながらも笑顔が溢れるような講座です。



1年間、食育や食生活改善、疾病予防など、多くのことを学びました。

●葉山町若宮会※の人の声

「料理の盛り付け方や彩りもきれいで、とても美味しくいただきました。」

「若宮会の定例会では、今回学んだことを忘れないような勉強を日々しています。」

「献立作りは大変だったと思うが、試作を重ねるのは大切なこと。これからも頑張りますよ。」

●講師の声

「若宮会のサポートには感謝しています。皆さん仲良く和気あいあいと学べたことが良かった。今後も町の健康づくりのために活躍して欲しいです。」

※葉山町若宮会とは、町の健康づくりの場で食生活改善推進員としてボランティア活動をしている団体です。